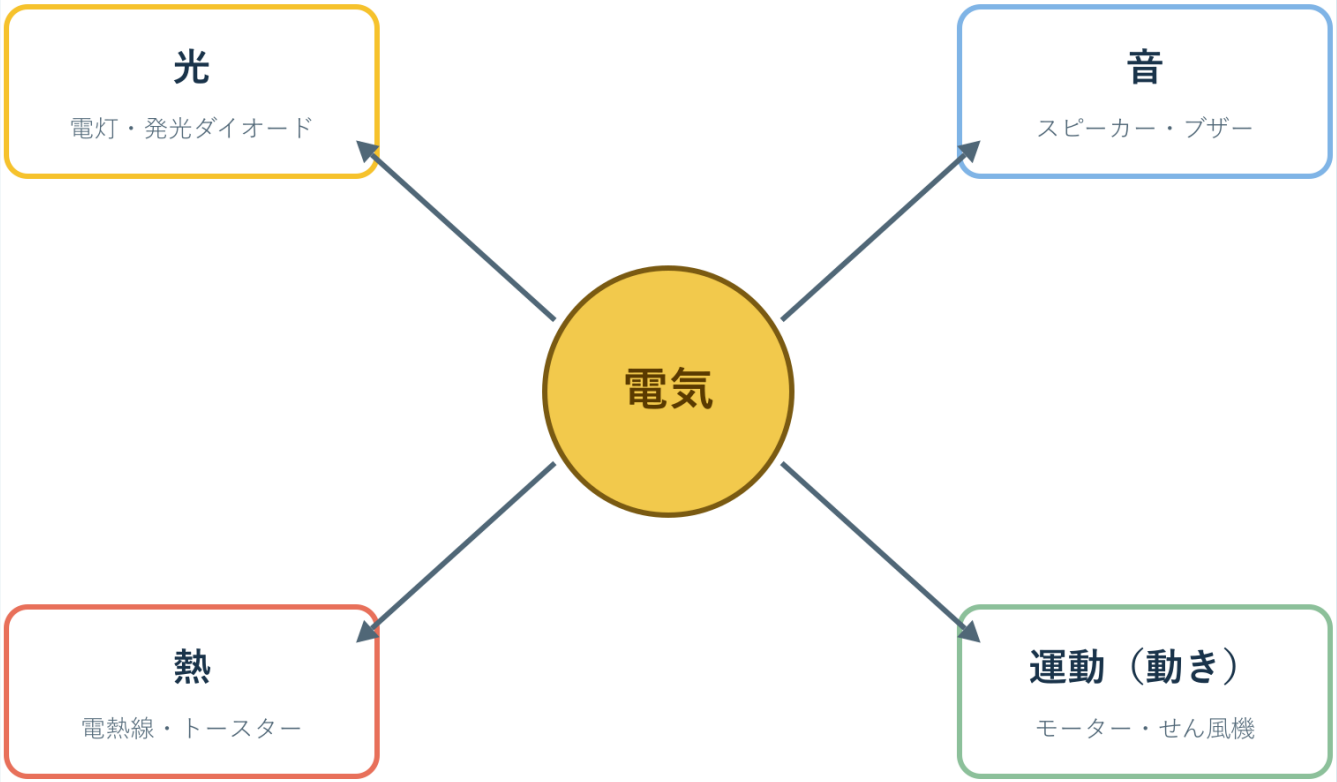
電気の変換と身の回りの道具

身の回りの道具は、電気を何に変えて使っているか

電気は、いろいろなものに変えられる



同じ量の電気で光らせる

コンデンサーに同じ量の電気
をためて、明かりをつける。



豆電球



発光ダイオード

光っていた時間



**発光ダイオードは、豆電球より
長い時間光る。
少ない電気で明かりをつけられる。**

棒の長さは違いの目安。時間は
電気の量や器具で変わる。

模式図。道具の例は代表的なもの。1つの道具が、電気を2つ以上のものに変えていることもある（例：テレビは光と音）。